

<感染成立の3要因と学内での感染予防対策>

感染症は①病原体（感染源）→排除

②感染経路 →遮断

③宿主→抵抗力の向上 ⇒3つの要因が揃うことで感染します。

感染対策においては、これらの要因のうちひとつでも取り除くことが重要である。

特に、「感染経路の遮断」は感染拡大防止のためにも重要な対策となりうる。

◎以下の事を守りましょう。

1. 必ず毎日、家を出る前のなるべく同時刻に検温し、その日の体調も合わせて検温表に記入する。
→毎朝、登校時に学生ホールの提出BOXに入れる。
2. マスクは、常時着用する。 → 喉が渇いていなくても、定期的に水分補給。Myボトル推奨！
3. 学内に入る時・出る時は、必ず手指の消毒をする。各階にも消毒を置いてあるので、トイレ等の後、人が触れやすい手すりやスイッチに触れた後も、手指の消毒をする。ただし消毒液にかぶれる学生は、この限りではない。 →個人で消毒液を持っている学生は持参するとより安心！
4. 手洗いは、30秒程度かけ石鹸と水で丁寧に洗う。→押すタイプの蛇口は、腕等でプッシュする。
5. 学生ホールは、指示のあるとき以外の使用を原則禁止とする。
→昼食は各自指定された場所で摂る。自動販売機の使用も許可のある時間帯のみとする。
6. 3階ロッカー室は、使用禁止とする。
7. 教室への移動に使用する階段は一方通行とする。→上り：旧館中央階段 下り：子育て支援ルーム横
学内は右側通行とする。→通行者同士の接触を可能な限り減らす。
8. トイレ使用後は、蓋を閉めてから流す。
男子学生 → 1階学生用トイレ
女子学生 → 2階会議室前トイレ 3階301教室前トイレ →新館のトイレのみ使用可。
9. Physical distance(フィジカル・ディスタンス) = 身体的・物理的距離 = 人を思いやる気持ち
→できるだけ2m(最低でも1m)空ける。
10. 大声で話したり、騒いだりしない。 →飛沫感染のリスクが高まる。
11. 他の人の飲みかけ、食べかけを共有しない。 →「一口飲ませて」「味見させて」は厳禁！
12. 鼻水をかんだり、口を拭いたティッシュ等は、感染リスクが高いので必ずゴミ箱に捨てる。
13. できる限り窓を開け、換気を行う。→換気のため寒く感じることもあるので、防寒も。

◎保育現場では子どもたちの健康を守る立場です。

これらのことは日頃から習慣づけましょう！